

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

墨田の元気なシニア

趣味を活かして

ボランティア活動を

中川清さん



長年にわたり「安来節」

を始め多彩な趣味を活かし

て、ボランティア活動を続

けている方で、墨田4丁目

にお住いの中川清さん(80

歳)にその活動の様子を伺

いました。

☆安来節を習うきっかけは

生まれも育ちも墨田です。

10年程前まで玩具の製造を

やっていた。その頃、

仕事関係の忘年会での余興

として「かつぽれ」、「獅

子舞」をやっていました。

長くやっているうちに、同

じ出し物ではない、レパー

トリを増やすために「安

来節」を習い始めました。

☆ボランティアのきっかけ

は

8年ほど前に、すみだ中

小企業センターで安来節を

披露する機会がありました。

その際、江戸川区の施設の

方が見ていて、「面白いの

でこちらでもやってほしい」

との要望があり、これがボ

ランティア活動のきっかけ

になりました。

☆その他にどのような事を

やっていますか

安来節の他に銭太鼓、小

唄、マジック、南京玉すだ

れ、よさこい踊り、越中お

わら節等を習っています。

ボランティアに行くよう

になり、安来節だけでは時

間を持て余すので、レパー

トリを増やすために色々

と習うようになりました。

今年の夢は、本場でおわ

のように練習に通ったり、

ボランティア活動で忙しい

日を送っています。

☆活動の様子は

活動の場は墨田区35カ所、

足立区23カ所のデイサービ

スや老人クラブで、様々な

出し物を行っています。

よさこい踊りは参加者に

も鳴子を持ってもらい一緒

に踊れる楽しみがあります。

複数で活動すること、

一人で活動することもあり

ます。平成21年から活動を

行っていますが、記録をとつ

て、前回と違う出し物を行

うように心がけています。

支度も衣装、小道具、特に

マジックでは何種類も必要

になり荷物が多くなります。

また、演目が換わると、衣

装替えや小道具の支度を急

いでやらなければなりません

ので大変です。

☆これまでの活動は

最初は年12回でしたが、

2年後には年40回、その後

は年間50〜60回の活動を行

い、2年前に病気のため3カ

月休みましたが、それ以外

は毎月活動を行っています。

昨年は74回、特に九月は敬

老の日がありますので、活

動日が多くなります。十二

月も多いですね。

☆これからの目標は

昨年末でボランティア活

動が340回になりました。

今年中に400回、その2

年後に500回が目標です。

このため、体につけて

頑張らなければいけません。

また、安来節の指導を行っ

ていますが、参加者を募集

しています。ぜひ、興味の

ある方は一緒に練習しまし

う。

・・・取材を終えて・・・

趣味はボランティアとおつ

しやるとおり、実に多くの

事にトライされていること

に、敬意を表します。

それでもなお、三味線を

習っておけばよかったとの

言葉を聞き、いつまでも物

事に興味を失わないことが

若さの秘訣かもしれないと

感じました。これから元

気にボランティア活動を続

けられることを願っており

ます。

「中年子育て奮闘記」その8 鈴谷 明

「出産立会④」

分娩室では、病室担当の看護師さんからバトンタッチした助産師さんと主治医の先生が待機されていました。私が生まれたころの常識では、医師以外の男性が分娩室に入るなどということとは考えられないことでした。

でも、既に時代は変わりつつあります。今や世間では男性の立会も特別なことではなく、私も生涯一度限りかもしれないこの貴重な機会にぜひ立ち会いたいと考えていたので、病院への事前手続きで「出産立会希望」を選択していました。

赤ちゃんの出産シーンというと、想像力の貧しい私の頭には、どうしても牧場の牛や馬、親戚の家にいた飼い犬といった哺乳動物しか思い浮かびません。獣医さんが力任せに引っ張って、赤ちゃんがつるんと出てきて、お母さんが赤ちゃんをペロペロと優しく舐めてあげて、やがて子どもは納屋の中で力強く足を踏ん張り立ち上がる・・といった

たシーンなのです。

分娩室に入ってもなお、ぼんやりとそんな場面を思い描いている私をよそに、事態は進行していきます。妻は待機室では長い時間苦しんでいたものの、分娩室に移動してからは、大変幸せなことにリズムをつかんだけしく、出産は順調に進んでいき

ました。

さすがの私も、赤ちゃんの頭が見えたときには、「牧場の出産」などのんきな他人事ではなく、まさに「命の誕生」という神秘の世界に入り込み、感動と興奮に頭の中のスイッチは切り替わっていました。しかし、それ以上に感動することがありました。それは、お医者さんや助産師さんたちの対応です。皆

さんは常日頃このような場面に立ち会われているベテランの方々ですから、すっかり場馴れしていて冷静なものかと予想していたのですが、意外にも、私同様大喜びしてくださっているのです。我々が困っているときは冷静に、でも喜ぶときは一緒に喜んでくださる姿勢に、本当に頭が下がる思いでした。

手軽にクッキング 64 <1月のデザート>

「きんかんの甘煮」

<材料>

きんかん	500g
砂糖	150～200g
水	300cc



<作り方>

1. きんかんをよく洗う
2. 鍋にきんかんがかぶる程度の水ときんかんを入れ、3分程度沸騰させる
3. ざるにあげる
4. きんかんに縦すじの切込みを入れ、押しながら楊枝で種を出す。その際、きんかんの汁が出るので、ためておく
5. 鍋に配列よく並べ4の汁も入れる
6. 水を加え、静かに煮る
7. あくとりをする
8. 砂糖の半分を加え弱火で5分程度煮込む
9. 残りの砂糖を加えて弱火で煮込む
10. 汁気をのこして火を止め、さます
11. 熱湯消毒した容器に保存する

*風邪対策のきんかんの甘煮、1日1個ずつ召し上がってください。

(協力：食育支援部)

振り込め詐欺を考える 石川一輝



振り込め詐欺の被害が一向に減らない。減らないどころか被害金額は500億円を突破したらしい。一体どこにそんなにお金があるのだろうと思うくらいだ。詐欺自体は、昔からあった犯罪で「寸借詐欺」などは、今では可愛らしく思えるほどだ。先日も浅草でバスを待っていたら、老婦人が近寄ってきて300円ぐらい貸してくれないと言ってきた。

以前の被害はせいぜい20億円ぐらいだったらしいから、今はその20倍以上の被害があるということだ。町内会が向島署のチラシを回して注意を促していた。警視庁は、この詐欺をわかりやすく表現する言葉を募集していた。『母さん助けて詐欺』『ニセ電話詐欺』『親心利用詐欺』などが優秀作として選ばれたが、その甲斐もなくというのが2016年正月までの現実である。このように、被害が増え続け

ることの背景は何であろう。日本の風土、文化に根差しているという事だろう。それならば日本よりも家族主義、儒教道徳の強い、お隣の韓国ではどうだろうか。日本人と結婚した知人の女性に聞いてみた。『そうなの、悪いことはすぐに韓国にも入ってくるのよね』とのことだった。日本と韓国は子供に対する考えが似ているのだ。親も子供も自立出来ていないのだ。フランスのように個人主義が徹底している国では考えられない犯罪だ。

私の家にも10年ほど前に詐欺電話がかかってきた経験がある。定年退職した年だった。このころは情報があり正確ではなかったみたいだ。息子などいないのに私の息子を名乗る者が、渋谷の鉄道公安官に痴漢行為で捕まったという設定だった。息子と話そうとしたが、泣いてばかりで話にならない。そのうち公安官が出てきて、被害者は示談でも

良いと言っているがどうしますかと本題に入ってきた。今思えば、騙されたふりをして犯人たちを警察に突き出せばよかったのにと悔やまれる。「お前、25歳にもなつて、立派な大人になっているのだから、自分で犯した罪は自分で償いなさい。俺はお前をそんな風に育ててきたのだよ、分かるな。」と説教垂れてしまった。

その話を囑託で働いていた職

場で話したことがあった。『身近なところにあるのですね、田舎の母親に話しておかなくちゃ』といった反応だった。皆さんくれぐれも注意してください。最近の情報は息子や娘の名前まで正確なようです。電話は留守電にしておくことです。犯人は声を録音されるのは証拠を残すことになるので、本当の息子でなければ切なのです。

「シニア人材バンク登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

平成27年度 第5回 生きがい講座

自分史作成講座

～自分の人生を年表に～

これまでの人生で経験した出来事や、人との出会いを思い起こし、そこから学んだことや気づいたことを整理します。

さらには、これからの人生を充実したものとするために、今後の目標や取り組みたいことを考えてみます。

これらを通じて、自分だけの年表を書いてみませんか？

パーソナルメモリーズ代表

自分史活用アドバイザー

す どう わたる
須藤 渉 講師



日 時:平成28年2月6日(土)

午後1時30分～3時30分

場 所:すみだリバーサイドホール会議室

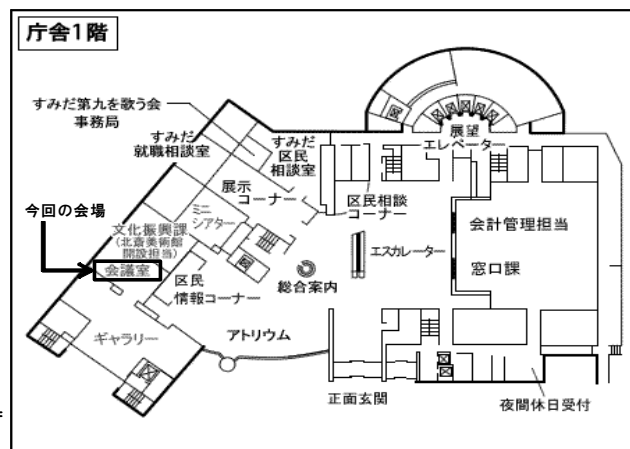
※墨田区役所1階(墨田区吾妻橋1-23-20)

費 用:無料

定 員:40名

対 象:おおむね55歳以上

注 記:筆記用具を持参願います。



申込み・問合せ: NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

電話5631-2577 FAX 5631-2578

受付時間:平日午前10時～午後4時

主 催:墨 田 区

企画・運 営:NPO法人てーねん・どすこい倶楽部



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tehnendosukoiclub/>

今年も穏やかに明けましたが、昨年末の風邪が治りきらず、やつとの思いで正月の準備をしました。
今年こそそのんびりと過ごしたいと望んでいましたが、忙しい一年になりました。

編集後記